

# 今後の活動

## ■ 史跡整備と活用のあり方

春日山城跡を保存、活用し、将来的に守り、受け継ぐための整備と活用について以下の項目が挙げられます。



### 基本的な取組み

遺構保護、防災等対策を基本整備とし、往時の生活の様子を追体験できる活用を目指します。

#### 遺構整備と活用への具体的な計画

継続的な調査と研究

防災計画

史跡公開への整備見直し



### 整備活用の短期及び中長期目標

今後約 20 年間に計画期間とし、前期 10 カ年を短期整備、後期 10 カ年とそれ以降を中長期整備の目標とします。

#### 短期整備目標

- イ) 史跡保護、指定地の拡大、公有地化
  - ロ) 保存整備等事業
  - ハ) 活用等事業
- 二) 行政における体制強化

#### 中長期整備目標

- イ) 史跡拡大と公有地化
  - ロ) 保存整備等事業
  - ハ) 活用等整備
- 二) 地域間交流によるネットワーク

### 地域の宝としての積極的な活用への方策

今後主流になる市民参画の拡大と市民協働による史跡の将来的な保存管理についての方向性を示します。

#### 史跡の保存と人材育成について

市民参画、市民協働による史跡の保存管理とそれを担う人材の育成が急務です。

#### 地域活性と住民活力

そこに住む市民のつながり、生活活動との結びつきなどを含め、史跡に堆積した歴史を具現化して、整備、事業化することが重要です。

#### 歴史（地域性）と歴史景観（生活）の再生と共生に向けて

直接的な文化財等への理解や活用の整備とは別に、住民と共生する活動の場としての活用も検討する必要があります。

